

網

走
ほんりゅう
教組

第403号

網走教職員組合

〒090-0836

北海道北見市東三輪1丁目83-35

TEL0157(31)7551

FAX 0157(31)7559

11月19日



全道合研の還流

教育の本質に迫る学び舎に

十一月一日から三日に行われた全道合研の還流が行われました。網走教組からは三名が参加し、この日は全員がそろってテーマ討論や分科会の様子を伝えてくれました。テーマ討論にパネラーとして参加した山本先生はたくさんの方に参加者に緊張しながらもよい話ができた満足げでした。内容は、授業が成立しないという学級の事態を改善するために奮闘していること。そのために全員参加ができる授業づくりや教材・教具の工夫、学びに向かう環境を作るための少人数指導の取組、子どもたちを職員みんなで見ていこうという体制づくりと多岐にわたっていました。また、参加した総合分科会では各地のダイナミックな授業実践から、「学力とは何か?」「教科の系統性とは何か?」と本質に関する話し合いができたとの報告がありました。

十一月一日から三日に行われた全道合研の還流が行われました。網走教組からは三名が参加し、この日は全員がそろってテーマ討論や分科会の様子を伝えてくれました。テーマ討論にパネラーとして参加した山本先生はたくさんの方に参加者に緊張しながらもよい話ができた満足げでした。内容は、授業が成立しないという学級の事態を改善するために奮闘していること。そのために全員参加ができる授業づくりや教材・教具の工夫、学びに向かう環境を作るための少人数指導の取組、子どもたちを職員みんなで見ていこうという体制づくりと多岐にわたっていました。また、参加した総合分科会では各地のダイナミックな授業実践から、「学力とは何か?」「教科の系統性とは何か?」と本質に関する話し合いができたとの報告がありました。

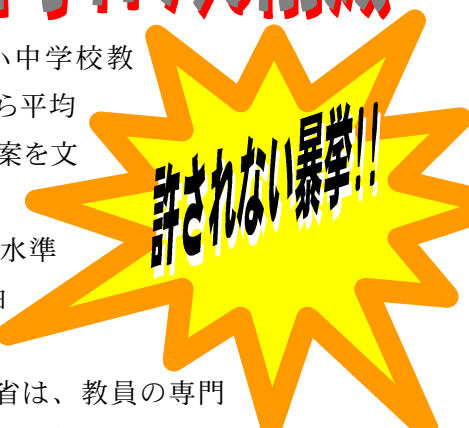
音楽分科会に参加し司会を担当した猶原先生からは、分科会にレポートが集まらなくて今年是一般参加者のレポートが0になってしまったとの話がありました。分科会の中では、子どもたちの歌声を育てるために、合唱コンクールや芸会などの行事だけでなく、普段の授業を大事にしていくことが大切であるという確認ができたとの報告がされました。

午後からは授業実践交流が行われました。山本先生からは、社会科で北見の歴史を学ぶ授業実践交流が行われました。山本先生からは、社会科で北見の歴史を学ぶ授業実践交流が行われました。山本先生からは、社会科で北見の歴史を学ぶ授業実践交流が行われました。



教職員給与1.7%削減

財務省は、公立小中学校教員の給与を来年度から平均年収で1.7%削減する案を文科省に提示しました。普通の公務員並みの水準にするというのが理由ですが、財務省から



の提案に対し、文科省は、教員の専門性などの高さを指摘し、給与削減に反対しています。

しかし、文科省は、財政悪化を受けて給与を12年度までに年収で2.76%カットする方針を文書で自民党に示していた(2006年)ことを考えると、財務省からの提案に賛成するのも時間の問題です。この内容は、今行っている道教委との賃金確定交渉にも影響することは間違いありません。道教委の新たな「査定昇給制度」(年1回の昇給にも勤務実績評価を反映させる)の導入意向と併せて、許されない暴挙です。職場集会の中で、私たちの怒りの声を、「私たちの要求」にまとめて届けましょう。

網走教職員組合

2014年 冬の合宿研

- 期日 1月9日(木)、10日(金)
- 場所 北天の丘 あばしり湖鶴雅リゾート

- ・みんなが参加しやすいようにと、今年は冬休み中の平日に行います。年休をとって参加してくださいね!!
- ・1日目の夜は退職者を囲む会となっています。
- ・2日目は「国旗・国歌」の学習会になっています。
- ・詳しくは、次回支部代で提案される予定ですので、お見逃しなく!
- ・今回の担当は網走支部です。

～憲法学習会について～

- 日時 12月7日(土) 13:00～
 - 場所 芸文ホール・小練習室2
 - 講師 道教組書記 柳 憲一氏
 - 演題 「憲法・子どもの権利条約を生かした学校づくり」
 - 参加者 組合員はもとより、高教組や未組の先生方にも参加を呼びかけます。
 - 内容 講演を聞き、グループで討議することで、どんな学校を作っていくのかをみんなで考えます。
- ※チラシを近くの先生などに配り、多くの先生が参加できるように取り組んでいきましょう。

史の学習についての報告がありました。話し合う中で、副読本のあり方についても議論が発展し、社会科の学習でどんな力をつけたいかということまで話し合うことができました。西小学校の未組の先生は、算数のノート指導についてのレポートを持参して参加してくれました。続けていくことで、力がつくということを確認し合いました。今回のまなびバは7名と参加者も多く、教育の内容や本質的なことにまで踏み込んで学び合うことができました。よい議論を進めるためにも、組合員の参加だけでなく、高教組へもつとアピールして参加者を増やしていきたいと思えます。

